

# しまくゆたか速報 No.7

目標単収を適期管理で越えていく!!

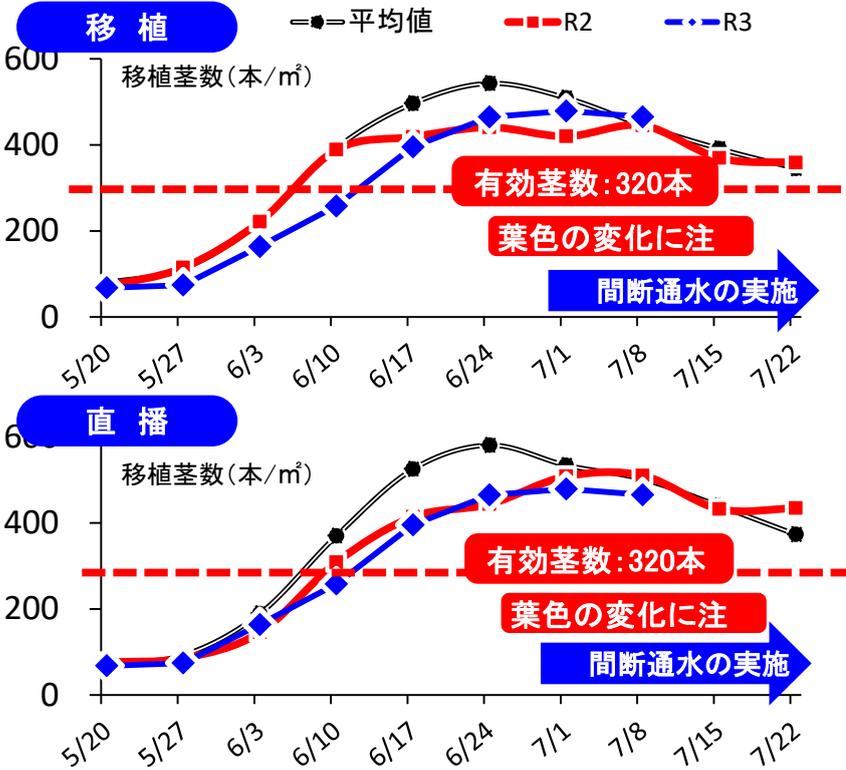
J A 福井県  
福井基幹支店  
多収米部会

## ● 中干しを終了し間断通水を実施!!

### 1. J A 生育調査状況 (7月8日現在)

栽培区分	年度	平均作業日	草丈 cm	茎数 m <sup>2</sup>	葉令	葉色
移植	R3	5月3日	66.9	465.3	10.6	4.2
	R2	5月1日	76.6	445.0	10.6	4.2
直播	R3	5月5日	59.6	595.1		4.3
	R2	5月2日	66.2	510.0	9.9	4.7

### 2. 茎数の推移と今後の管理



7月に入り断続的な雨が降る中、今後も雨や曇りの日が続く事が予想されます。いもち病や紋枯病等が発生しやすい条件が続きますので天候や圃場に応じた管理を行ってください。

#### しまくゆたかの管理

『移植』の茎数は昨年並み、無効分げつを抑制した茎数推移です。また、5月上旬の移植で幼穂を確認しました。  
『直播』の茎数は595本/m<sup>2</sup>、微増しながら昨年並みとなりました。幼穂は未確認ですが間もなく幼穂形成期を迎えます。各圃場の葉色の变化や病害虫の発生に注意して管理をおこないましょう。

#### 移植 直播

- 水管理 : 間断通水(中干し終了)
- 穂肥 : 葉色4以下に注意
- 病害虫防除
  - 紋枯病 : リンバー粒剤
  - 穂イモチ病 : ブラシン粉剤 (使用量: 3~4kg、2回以内、収穫7日前)
  - 穂イモチ・紋枯病 : ブラシンバリダ粉剤 (使用量: 3~4kg、2回以内、収穫7日前)
- カメムシ類予防 : 畦畔の草刈り  
今年は、カメムシ類の発生が多い!!



### 3. 多収米のポイント

#### 紋枯病の防除

紋枯病は稲の株元から徐々に上部に伸展し、ひどい場合は稲が白穂になり収量が著しく減収します。また、稲体が弱くなり倒伏しやすくなります。昨年、紋枯れ病の発生が多かった圃場では、リンバー粒剤を7月中旬から下旬に散布しましょう。

#### 【リンバー粒剤】

- 散布時期: 出穂5~30日前
- 使用量: 3~4kg/10a
- 使用回数 : 2回以内



【出穂】

的確な穂肥で、収量アップを目指しましょう。今週の多収米速報は『中央支店』が担当しました。